

Ikuta Campus
Surugadai Campus
Nakano Campus



Graduate School of

Science and Technology

理工学研究科

高いデザイン能力を有する 高度専門技術者の育成

理工学研究科は、理学・工学を中心に文理融合の専攻も含む7つの専攻から構成され、多様な専門技術者を育成することを目的に作られた研究科です。その活動拠点は広大な敷地に多くの専門施設を配備した生田キャンパスを中心として、その一部を駿河台キャンパスや中野キャンパスでも展開しています。

各専攻に設置された科目を通して専門的な学力の習得はもとより、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業を配置することで、社会との関わりの中で科学技術をとらえる広い視野と境界領域や新しい分野を開拓しうる柔軟性を育成します。

また、連携大学院制度の導入、他大学との単位互換協定への参画など、実社会や他大学院生との交流も積極的に行っています。国内外の学会参加の費用補助やRA・TA、助手への採用の制度、その他奨学金制度など経済的支援も整っており、積極的に研究に取り組む大学院生にとって、充実した研究生生活を送ることができる環境が用意されています。意欲ある多くの皆さんが理工学研究科に入学されることを期待しています。

理工学部事務局（中央校舎1F）

※事務取扱時間（開室時間）はHPで確認してください。

電話 ☎044-934-7561 Mail ✉sst@mics.meiji.ac.jp

※休業期間やイベント等により事務取扱時間は変更となる場合があります。



理工学研究科Webページ

<https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/index.html>



入学者の受入方針
（アドミッション・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/policy/graduate_ap.html



教育課程編成・実施方針
（カリキュラム・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/policy/graduate_cp.html



学位授与方針
（ディプロマ・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/policy/graduate_dp.html

● 人材養成その他の教育研究上の目的

理工学研究科では、自然の法則と数理の構造を理解し、それらを応用して、人類が継続的に発展し、幸せに生きることを実現する、すなわち、理と工の融合を目指して教育・研究活動を行っています。この目的達成のため、応用を考慮した基礎科目と基礎理論に基づいた応用科目、そして広範な分野への適用を考慮した境界領域科目の設置をカリ

キュラムの基本方針とし、科学技術のみならず、社会・人文科学分野等において領域横断的に活躍ができ、時代の変化とともに新たな分野に積極的に挑戦し、さらには国際的に通用する実力を身につけた、人間性豊かな研究者と高度専門職業人の養成を目標としています。



● 理と工の融合を目指す7つの専攻

理工学研究科は、理工学部設置されている8学科を基礎として、電気工学、機械工学、建築・都市学、応用化学、情報科学、数学、物理学の7専攻で構成されています。

理工学部	理工学研究科	
電気電子生命学科	▶ 電気工学専攻	電気電子生命の領域における高度な専門技術者、指導者を育成する。
機械工学科 機械情報工学科	▶ 機械工学専攻	機械工学・機械システム工学などの幅広い分野で活躍する国際性豊かな技術者を育成する。
建築学科	▶ 建築・都市学専攻	科学・技術と自然・環境の投げかける問題に対応する建築学を構築し、建築をデザインできる人材を育成する。
応用化学科	▶ 応用化学専攻	今後の自然科学の予測しがたい展開にも対応でき、化学および化学工業の将来を担う人材を育成する。
情報科学科	▶ 情報科学専攻	新しい世界を切り開くことのできる問題意識と技術力を持った人材を育成する。
数学科	▶ 数学専攻	広い視野のもとに、数学を作り、使い、伝えることのできる知性と感性を育てる。
物理学科	▶ 物理学専攻	根本原理に基づいて現象を演繹的に理解しようとする物理学的思考ができる人材の育成を目指す。

● 他大学院との教育研究協定

理工学研究科では、他大学院との学術的提携・交流を促進し、教育・研究両面での充実と一層の発展を図るために、他大学院との単位互換および研究指導委託に関する制度を設けています。これは、大学院生が研究上の必要から、他の大学院が設置し開講している授業科目を相互に履修し修得した単位を修了に必要な単位として認定したり、教育研究上の必要性により、他の大学院において研究指導を受けることができる制度です。

● 【大学院数学連絡協議会】加盟大学院 数学専攻

中央大学／学習院大学／上智大学／国際基督教大学／日本大学／日本女子大学／立教大学／東京女子大学／東京理科大学／津田塾大学／明治大学

● 単位互換・研究指導委託制度締結大学院

広島大学大学院統合生命科学研究所／山梨大学大学院医工農学総合教育部／龍谷大学大学院理工学研究科／静岡大学大学院自然科学系教育部（博士後期課程のみ）／デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科（単位互換のみ）／青山学院大学大学院文学研究科及び立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科（単位互換のみ）／集積Green-niX研究・人材育成拠点（東京科学大学・豊橋技術科学大学・広島大学・長岡技術科学大学 ※単位互換のみ）

● 連携大学院の開設

科学技術の急速な発展と高度化に伴い、専門分野を異にする研究者間の協力による総合的な研究が重要となってきました。こうした社会的・学問的要請に応える制度が、連携大学院の開設です。理工学研究科は、(国研) 海洋研究開発機構、(国研) 産業技術総合研究所、(国研) 物質・材料研究機構、(国研) 理化学研究所、(国研) 情報通信研究機構、(国研) 宇宙航空研究開発機構、パナソニック(株)くらしアプライアンス社と教育研究に関する連携大学院の協定を締結しています。本研究科の学生は、指導教員の許可を受け、これら最新の研究設備と機能を有する研究所において研究指導を受けることができます。

電気工学専攻

生田キャンパス

電気工学専攻では、「材料・物性」「電力システム・電気機器・電気エネルギー変換制御」「情報・制御・コンピュータ・生体・生命」「通信工学・音響・計測」などの分野で活躍する人材の育成を目指しています。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

電気工学専攻では、電気工学の専門知識を土台に電気工学にかかわる特修科目を修得し、科学的センスと創造性を身につけた高度に専門性の高い技術者として広い分野において指導的立場で活躍が期待できる「個」の確立した人材の育成を目指しています。幅広い視野に立って電気工学を土台に理学、工学を融合した高度に専門性の高い研究・教育を行い、多様化と専門化が求められている現状に即した電気工学系研究者・技術者を養成します。

博士前期課程では、電気工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた電気系技術者を育成します。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成します。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ ウェアラブルな生化学モニタリングに向けたセンサモジュール着脱式小型バイオセンシングシステムの開発
- ▶ 固体高分子型水電解セルの初期活性化過程に関する研究
- ▶ MgターゲットとSiチップを用いたスパッタリング法によるMg₂Si薄膜の形成と近赤外線受光デバイスへの応用
- ▶ PMSMの位置センサレス制御における増磁始動法
- ▶ SiSn薄膜の次世代光電融合デバイス応用に向けた光学特性評価に関する研究
- ▶ カイコガ雄成虫の匂い源探索行動を規範とした切替制御モデルの構築と性能検証
- ▶ 光通信ネットワークにおける非線形波形歪み補償に用いるリザーバコンピューティングの過学習特性
- ▶ 医療応用に向けた二ホペンクラゲの生態解明と人工育成条件の最適化
- ▶ 可視発光増強のためのSiC量子ドット添加SiO_x薄膜の成膜プロセスの適正化および受発光デバイスへの応用に関する研究
- ▶ 末梢筋代謝の意識的調節：脳波と循環指標計測による検討

● 修了生からのメッセージ



三浦 宏明

MIURA Hiromi

電気工学専攻
博士前期課程
2025年3月修了予定

主体性を高め、好奇心・深化・挑戦で大きく成長する2年間

2024年1月に日本初の月面着陸に成功したSLIMプロジェクトの先を見据えた研究として、宇宙探査機による撮影画像のみを用いて、地図の無い未踏天体向け、探査機が自律的に航行することを目指した研究をしています。昔から関心のあることを深く考えることが好きな性格で、未知への挑戦の連続でもある研究に強く惹かれました。一筋縄ではいかないこともあります、だからこそ研究の醍醐味で、深く考え自分の視点やアイデアで新たな世界を切り開くのは、とても新鮮で楽しく感じています。

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
電気電子生命研究	半導体ナノテクノロジー特論	小椋 厚志
電気電子生命研究	磁性体特論 磁気工学特論	小原 学
電気電子生命研究	電子物性特論 光半導体工学特論	勝俣 裕
電気電子生命研究	分子物性特論	加藤 徳剛
電気電子生命研究	分子ナノエレクトロニクス特論	野口 裕
電気電子生命研究	電気材料科学特論	三浦 登
電気電子生命研究	電力系統工学特論	川崎 章司
電気電子生命研究	エネルギー変換特論	久保田 寿夫
電気電子生命研究	システム工学特論	熊野 照久
電気電子生命研究	超電導応用工学特論	野村 新一
電気電子生命研究	電気機器学特論	前川 佐理
電気電子生命研究	空間情報処理特論	網嶋 武
電気電子生命研究	生命情報科学特論	池田 有理
電気電子生命研究		伊丹 琢
電気電子生命研究	関数解析特論	伊吹 竜也
電気電子生命研究	脳神経工学特論	小野 弓絵
電気電子生命研究	神経回路特論	梶原 利一
電気電子生命研究	電子計算機特論B	鎌田 弘之
電気電子生命研究	バイオマイクロシステム科学特論	工藤 寛之
電気電子生命研究	認知科学特論	嶋田 総太郎
電気電子生命研究	電子計算機特論A	保坂 忠明
電気電子生命研究	生体計測特論	星野 聖
電気電子生命研究	デジタル信号処理特論	村上 隆啓
電気電子生命研究	電磁波特論 通信工学特論B	井家上 哲史
電気電子生命研究	集積電子回路特論	
電気電子生命研究	回路デバイス特論	関根 かをり
電気電子生命研究	光通信工学特論	中村 守里也
電気電子生命研究	波動信号処理特論	
電気電子生命研究	信号処理回路設計特論	和田 和千

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(工学)	拡散相関分光法による血流計測システムの開発および性能評価	2024年度
博士(工学)	無線電力伝送回路の負荷電圧定値制御と効率最大化の両立に関する研究	2024年度
博士(工学)	機械学習を用いた短期風速予測手法の開発とその応用技術に関する研究	2024年度
博士(工学)	機械学習を用いた非線形イコライザによる光ファイバ光学非線形補償の研究	2024年度
博士(工学)	音楽的快感および嗜好性に関する脳波解析研究	2024年度
博士(工学)	電力系統瞬時値解析の高度化に向けた変圧器・回転機のモデリングおよび解析手法に関する研究	2024年度

博士前期課程
Master's Program

Q 師事していた教員は？

A 鎌田 弘之 教授

複合情報処理研究室では、従来からの研究テーマと学生が興味を持ったテーマを融合した複合的視点で、新たな研究成果を創出しています。大規模サーバからFPGAまで研究設備も充実しており、さまざまな環境下でのシミュレーションをいつでも行えるほか、研究機関・企業との共同研究や学会発表にも積極的で、非常に充実した大学院生活を送れます。

教員情報 P.134

機械工学専攻では、機械工学・機械システム工学などの各分野およびその関連分野を有機的に結び付けることで社会の要求に対応できる知識と創造力、豊かな人間性、国際性を有した人材の育成を目指しています。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

機械工学専攻では、幅広い機械工学の各分野及びその関連分野を有機的に結びつけることで、社会の要請に応じた新たな技術・システムの実現に寄与することを目指しています。このために、高度な専門知識・創造力と高い倫理観・使命感を基に自ら考え行動でき、国際性に富んだ機械系技術者・研究者を育成するとともに、機械工学分野の深化・拡張・発展に資する研究を実施し、研究成果と教育力を社会に還元することを目的としています。

博士前期課程では、機械工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた機械系技術者を育成します。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成します。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ バスレフ型エンクロージャーによる音圧増幅機構の解明
- ▶ 表面筋電位を用いた動作予測による遅延補償が可能なロボットアームの遠隔操作システム
- ▶ 逆投影法に基づく磁性ナノ粒子イメージングシステムの構築と交番磁場由来の信号抑制に関する研究
- ▶ 吹き降ろし方向の局所的な風外乱が小型ドローンの飛行姿勢に及ぼす影響
- ▶ 体衝突を想定した人頭部の動解析
- ▶ 走行経路の予見情報に基づく加速度感覚模擬手法の検討
- ▶ 胆管内逆流現象に関する研究
- ▶ 自動積層装置を想定したCFRTP成形における熱履歴および結晶状態の評価
- ▶ 白内障手術時の水晶片衝突による角膜内皮細胞損傷に関する研究
- ▶ 移動体の衝突回避を考慮したロボタス事象駆動モデル予測制御

● 院生からのメッセージ



木佐貫 雅也

KISANUKI Masaya

機械工学専攻
博士前期課程 2年

学びを深める楽しさ

私は学部での加工・材系の授業の豊富さから加工技術に興味を持ち、機械加工研究室を選びました。研究を進める中で、材料が除去されるメカニズムに非常に興味を持ち、より学びを深めたいと考え、大学院進学を決めました。社会課題に対して先行研究の調査などをもとに自身で仮説を立て、それらを検証し再び仮説を構築する問題解決プロセスは、将来まで役に立つスキルだと感じています。大学院では、学びに限らずさまざまな経験が得られます。ぜひ大学院に進学して、その楽しさを実感してください。

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
機械工学研究	機械材料学特論1、2	有川 秀一
機械工学研究	加工学特論	澤野 宏
機械工学研究	弾性力学特論 固体力学特論	田中 純夫
機械工学研究	破壊力学特論	納富 充雄
機械工学研究	材料力学特論 材料強度学特論	松尾 卓摩
機械工学研究	機械構造設計特論	石田 祥子
機械工学研究	製品開発・設計特論	井上 全人
機械工学研究	機械材料・設計特論	岩堀 豊
機械工学研究	設計工学特論	舘野 寿丈
機械工学研究	信頼性工学特論 工業統計学特論	永井 義満
機械工学研究	生産システム工学特論	宮城 善一
機械工学研究	熱流体工学特論	相澤 哲哉
機械工学研究	熱流体計測特論	石原 康利
機械工学研究	熱工学特論	川南 剛
機械工学研究	熱流体特論	小林 健一
機械工学研究	乱流特論	榊原 潤
機械工学研究	流体力学特論	中 吉嗣
機械工学研究	マイクロ熱工学特論	中別府 修
機械工学研究	制御工学特論2 システム制御工学特論	阿部 直人
機械工学研究	制御工学特論1	市原 裕之
機械工学研究	構造動力学特論 モード解析特論	齋藤 彰
機械工学研究	ビークルダイナミクス特論 機械力学特論2	椎葉 太一
機械工学研究	機械力学特論1 振動工学特論	松岡 太一
機械工学研究	ロボット制御特論	小澤 隆太
機械工学研究	メカトロニクス特論 制御理論特論	加藤 恵輔
機械工学研究	ロボット工学特論1、2	黒田 洋司
機械工学研究	熱流体数値特論	亀谷 幸憲
機械工学研究	ソフトロボティクス特論	新山 龍馬
機械工学研究	ソーシャルロボティクス特論	木本 充彦
機械工学研究	先端加工学特論	田島 真吾

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(工学)	Hydrogenabsorptionanddesorptionproperty inMg-basedhydrogenstoragematerials	2020年度
博士(工学)	材料押出法のアディティブマニファクチャリングにおける加工経路に着目した機械部品内部構造の設計法	2021年度
博士(工学)	部分空間同定法を利用した入力むだ時間系の同定と離散時間状態予測制御	2024年度

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？

A 澤野 宏 教授

機械加工研究室では、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)への放電加工やレーザースペックルを用いた血流計測、3Dプリンタ部品の強度に関する研究などを行っています。加工技術のみにとどまらず、計測技術など幅広いテーマを扱っていることが本研究室の魅力の一つです。また、研究室全体でチームとなって議論を行うなど研究活動も活発です。

教員情報 P.136

建築・都市学専攻

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

建築・都市学専攻では、建築・都市を中心とする空間環境の創造・再生を多様な立場で担い、国際的視野に立って人間を取り巻く環境・社会・文化の持続可能な発展に貢献できる人材の育成を目指します。この人材養成の目的を達成するため、確固たる建築学術の体系を踏まえた総合性・横断性・革新性を支える教育研究基盤の確立、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナルの育成、環境創造の基礎となる芸術・文化的教養の再定義が肝要です。これを踏まえて、本専攻に、建築学系、国際建築都市デザイン系及び総合芸術系を置きます。

建築・都市学専攻

建築学系

生田キャンパス

国際建築都市デザイン系

駿河台キャンパス

総合芸術系

中野キャンパス

●● 3つの特色

日本から世界へ・世界から日本へ
[グローバルに活躍できる人材]の育成

- サステナブルな低炭素社会の実現に向けた学際的視野の獲得
- 世界的都市問題と地域固有の問題に対応した多角的な視野の育成
- マーケットのグローバル化に対応した東アジア・環太平洋地域との連携

建築・都市デザイン分野における
日本で初めての完全英語教育と
学際的教育の実施

- ワークショップ・ディスカッション重視の欧米スタジオ形式のインタラクティブ指導の実践
- 欧米・アジアの建築・都市デザイン分野の大学との連携による多様な学習スタイルの提供
- JABEE およびUNESCO/UIA 認定プログラムによる国際的通用性のある建築教育プログラムの提供

知的プラットフォームの構築による
国内外での多様な就業・実務機会の提供

- 海外建築・都市デザイン事務所との連携による就業支援プログラムの提供
- 海外大学との連携による留学機会の提供
- グローバルなネットワークの構築とコミュニケーション能力のスキルアップによる多様な就業・実務機会の創出

●● プログラム（博士前期課程2年間）

国際的視野に立ち、総合的かつ実践的に課題に対処できるプロフェッショナルの育成を目指し、ワークショップ・ディスカッション重視の指導による、国際的通用性のある高度専門教育を行います。

第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター
建築都市 デザインスタジオA	建築都市 デザインスタジオB	建築都市 デザインスタジオC	
講義	ワークショップ インターンシップ 講義	ワークショップ インターンシップ 講義	修士設計

UIA基準による
国際建築家資格取得カリキュラム

学位 | 工学修士号、建築学修士号、
学術修士号

UIA建築教育憲章に準拠した教育プログラムとして日本での認定機関であるJABEEより認定を得ることにより、国際的通用性の担保された建築教育を提供します。

建築学系では、「歴史・意匠・計画」「構造・材料」「環境・設備」の分野の研究開発や設計能力を育むとともに、自立して研究活動を推進できる人材の育成を目指しています。

人材養成その他の教育研究上の目的

建築学系では、確固たる建築学術の体系を踏まえつつ、横断性・総合性・革新性をもって人間環境の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。安心・安全かつ快適な自然環境と調和した社会の持続を、空間環境の創造という側面から実現していくことを究極的な目的とし、確固たる体系に基づいた教育研究により、社会的に信頼される技術者や研究者を養成します。博士前期課程では、歴史・意匠・計画、建築構造・材料及び建築環境・設備にかかわる高度な知識と先端技術を有する研究者又は高度専門職業人を育成します。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成します。

2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ 山小屋の建築的特徴とその変遷の分析および所有・管理との関連
—日本の南アルプスに属する山小屋を対象として—
- ▶ 二つのBoSC再生室を用いた聴取体験システムの構築
—他者との音場共有の効果の検討—
- ▶ 高減衰ゴムダンパーを用いた制震耐力壁を付加した
木質構造建築物の耐震設計に関する研究
- ▶ DIYにおける「女性らしさ」の形成と変容
—メディア表象と実践者の語りの分析を通じて—
- ▶ 偏心圧縮力を受ける木製補剛材と鋼製軸力材の部材間隔の制御が座屈
補剛効果に与える影響
- ▶ 植物工場内の生育環境把握と省エネ性能評価に関する研究
- ▶ 都市における「材料空間」の変遷
—明治期から現代の静岡県三島市の商店街・駅前広場を対象として—
- ▶ 湘南海岸における海の家の設置期間の延長に関する検証
—海水浴場の歴史と立地特性に着目して—
- ▶ 集合住宅における暖房方式の差異が温熱環境に及ぼす影響の把握に
関する研究
- ▶ ガラスカーテンウォールのユニット構成とファサードの複雑性
—2000年以降の商業施設を対象として—

修了生からのメッセージ



稲垣 佳紘

INAGAKI Yoshihiro

建築・都市学専攻 建築学系
博士前期課程

2025年3月修了予定

「研究」ではなく、「挑戦」

私は、給湯システムの省エネルギー化とファインバブルの洗浄効果に関する研究をしています。専門は環境設備ですが、経営学研究所の講義で建築以外の視点からも環境を学び、知見を深められました。これは規模の大きい明治大学だからこそ得られた経験です。大学院は研究を深めるだけでなく、多くの挑戦ができる恵まれた環境。大学院を通して、プレゼン能力や多面的思考力も身につけ、これが大きな誇りとなっています。

いろんな挑戦ができるので大学院をうまく活用しましょう。

カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
建築・都市計画設計研究	設計スタジオA	大河内 学
建築・都市計画設計研究	都市史特論	青井 哲人
建築・都市計画設計研究	建築構法計画特論 先端建築特論	門脇 耕三
建築・都市計画設計研究	都市計画特論	山本 俊哉
建築・都市計画設計研究	地域デザイン特論	川島 範久
建築・都市計画設計研究	建築計画特論	連 勇太郎
建築構造・建築材料研究	建築材料特論 資源循環特論	小山 明男
建築構造・建築材料研究	建築振動特論	小林 正人
建築構造・建築材料研究	木質構造特論	梶川 久光
建築構造・建築材料研究	シェル・空間構造特論	熊谷 知彦
建築構造・建築材料研究	鋼構造特論	富澤 徹弥
建築構造・建築材料研究	建築施工特論	松沢 晃一
建築環境・建築設備研究	建築環境工学特論 建築環境解析特論	酒井 孝司
建築環境・建築設備研究	空調設備特論	樋山 恭助
建築環境・建築設備研究	建築音響特論 建築環境評価特論	上野 佳奈子
建築環境・建築設備研究	給排水設備特論 建築水環境特論	光永 威彦

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(工学)	微振動および大振幅地震動に着目した免震構造の 要求性能確保に関する研究	2021年度
博士(工学)	システム化された住宅生産の部分的かつ非階層的 な解体可能性: 構法計画の理論的検討およびハウ スメーカーにおける設計協議の会話分析を通して	2022年度
博士(工学)	気流制御機構と高性能ガラスを用いた気候適応 型窓システムの開発	2022年度
博士(工学)	地震動入力レベルに対する冗長性を考慮した免 震構造の耐震安全性評価	2023年度
博士(工学)	植物資源を用いた循環型建築材料の開発と利用 促進に関する研究	2023年度

博士前期課程
Master's Program

Q 師事していた教員は？

A 光永 威彦 准教授

建築設備研究室では拡張排水システムや雨水利用など建物の給排水設備について最先端の研究を行っています。実は給排水設備の研究を行っている研究室は日本で数えるほどしかありません。研究は各自のテーマで先生や企業の方と相談しつつ楽しく行っています。自由に研究を行えるため、給排水設備を極めるにはもってこいの研究室です。

教員情報 P.139

建築・都市学専攻

国際建築都市デザイン系

駿河台キャンパス

都市や建築分野における教育・研究・実務の領域では、国を超えた共通の課題や地域に根ざした固有の問題などを解決するために、国際的視野に立った高度専門家の育成が緊急の課題となっています。

一方、近年、グローバルな経済変動の中で国内建築業界は長期停滞傾向にさらされ、今後ますます海外進出を視野に入れた建築技術者の養成が求められています。

国際建築都市デザイン系では、こうした諸問題に向き合える、国際的に通用するプランナーやデザイナーを育成しています。

人材養成その他の教育研究上の目的

国際建築都市デザイン系では、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナル、特に国際的な環境において建築・都市の創造・再生を実践的に担えるプランナーやデザイナーを育成します。

博士前期課程では、国際的な環境における建築デザイン・都市デザインの実践に必要な知識、語学力及び技能を有する研究者又は高度専門職業人を育成します。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、国際社会での先導的役割を担う研究者・教育者・実務家を育成します。

2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ A Study on the Comfort of Street Spaces in Commercial Areas: —An Analysis of Spatial Configuration and Building Use Complexity in Kitazawa 2 Chome—
- ▶ Designing for Ontological Security —Synthesizing the Primitive Hut and Interactive Art—
- ▶ TASKSCAPE —Re-evaluation of Traditional Ceramic Towns—
- ▶ Power, Control, and Sexuality: Tracing Foucault's 'History of Sexuality' and Its Spatial Manifestation in Kabukicho
- ▶ A Community of Strangers —Thriving with "Associated Populations" through Adaptive Reuse in Iwate, Japan—
- ▶ The Impact of Urban Highways on Physical and Social Environments of Neighborhoods
- ▶ Contemporary Monzenmachi Development —Future Potential of Traditional Contexts—
- ▶ Learning from Zakkyo-Buildings — Application of Values of Mixed-Use Neighborhoods on Future Development of Sakuragaoka, Shibuya —
- ▶ Nighttime Urban Performativity —Temporality of Urban Environments for Marginalized Communities—
- ▶ STUDY ON THE CONTRIBUTORY ITEMS IN THE LARGE-SCALE URBAN REDEVELOPMENTS IN SHIBUYA STATION CENTRAL DISTRICT

修了生からのメッセージ



張 佳恵

ZHANG Jiahui

建築・都市学専攻
国際建築都市デザイン系
(I-AUD)
博士前期課程
2025年3月修了予定

Embracing Global Perspectives in Architecture

IAUD's most appealing aspects are its multicultural environment and overseas programs. Here, students from diverse backgrounds connect in English, and international workshops and exchanges offer invaluable opportunities. My research examines memorial architecture in urban spaces, exploring how "memory" in architecture influences urban change, behavior, and perception. IAUD provides an ideal setting to study architecture from a global perspective.

Q 師事していた教員は？ A 庄 ゆた夏 教授

Professor Sho bringing extensive experience from Japan, the U.S., and Africa to enrich our learning in design, construction, and education. Discussions with Professor Sho and lab members have provided fresh perspectives on architecture and urban design, expanding my practical knowledge and vision beyond borders.

博士前期課程
Master's Program

教員情報 P.139

カリキュラム一覧

主要科目	担当教員
Architecture and Urban Design Studies	佐々木 宏幸
Architecture and Urban Design Studies	庄 ゆた夏
Architecture and Urban Design Studies	田中 友章
Architecture and Urban Design Studies	ヴァンアカー、ミッシェルA.
Architecture and Urban Design Studies	田村 順子

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(建築学)	Development of Visual Analysis Method of Mixed-use Condition-Through the development of Spectrum Graph-	2023年度
博士(工学)	A Comparative Study on the Spatial Composition of Japanese Shoin-zukuri and the Paris Appartement —Through the analysis method of Space Syntax Theory—	2023年度
博士(工学)	The urban quality of linear public spaces onto the hidden waterways in Tokyo	2023年度

総合芸術系では、芸術文化の歴史と現在に対する洞察と、自然と社会の環境への適切な配慮を、創造的な研究へとつなげていくことのできる人材育成を目的とします。

修了後の進路としては、高等教育機関教員、アーティスト、キュレーター、批評家、ジャーナリスト、自治体・企業等における文化支援部門の専門職などが挙げられます。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

総合芸術系では、芸術文化の歴史と現在に対する洞察と、自然と社会の環境への適切な配慮を、創造的な研究へとつなげていくことのできる人材を育成します。

博士前期課程では、特定の芸術分野における深い知識と、分野を横断する広い知識を併せ持つ研究者・教育者・作家を育成します。博士後期課程では、博士前期課程で培った研究の専門性を一層高め、各芸術分野においてより先導的役割を担う人材を育成します。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶グスタフ・クリムトのユーディット像——斬首と装飾について——
- ▶(詩集)『錨氷』——(論文)「城山ダム建設と水没地不津倉」——
- ▶ファッションを語る言葉——雑誌『GISELE』の記号論的分析——
- ▶韓国舞踊サルブリにおける美学的考察——意匠性からみる白布を中心に——
- ▶物と人との関係性の変容——所有における物質性に着目して——
- ▶盆栽のモダンティ—観察対象としての「自然」——

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
総合芸術研究	現代美術特論 写真史特論	倉石 信乃
総合芸術研究	映画と都市 文学と都市	清岡 智比古
総合芸術研究	映画史特論 批評特論 総合芸術特論	管 啓次郎
総合芸術研究	環境と人文学 環境とデザイン	鞍田 崇
総合芸術研究	コミック文化特論 コミック制作特論	原 瑠美
総合芸術研究	ワークショップ・デザイン特論 空間表象特論	山本 洋平

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※一部の科目について、生田キャンパスで開講する場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(学術)	現代中国における「抗洪救災」をめぐる環境表象論的研究：黒竜江省哈爾濱市の事例を中心に	2021年度
博士(学術)	国際文化都市創出のためのブロードウェイ・ミュージカル国産化に関する表象文化論的研究	2021年度
博士(学術)	増村保造論 戦後日本の映画的身体	2024年度

● 院生からのメッセージ



池尾 優

IKEO Yu

建築・都市学専攻
総合芸術系
博士前期課程 2年

自分の思想と言葉をつくる場所。

長らく編集業に携わるなかで民藝に惹かれ、ならばその思想を研究する鞍田先生のもとで、と進学を決めました。哲学、映画、写真、環境文学など専門の違う先生方による講義では、体系的な知識を学びながらも、詩や批評やレポート等を書くことを通じて言葉に向き合う時間が重視されます。そこで感じたのは、自分だけの思想やその最小単位である言葉をもつことの大切さでした。どんな創造も始まりはひとつの言葉から。こうした学びは将来どんな道を歩むにせよ、それぞれの確かな土台になると思います。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 鞍田 崇 准教授

民藝、盆栽、写真、ファッション、民俗文化などとメンバーの研究領域はさまざま。ですが思想的な探求という骨子は同じなので、研究内容や悩みを見聞きし共に考えるなかで、自分の研究にとっても大事な気づきを得たり、思わぬ方向に視野が開けたりすることも多々あります。私にとって、ゼミは互いに良い刺激と影響を与え合う貴重な時間です。

教員情報 P.140

応用化学専攻

生田キャンパス

応用化学専攻では、有機化学・無機化学・物理化学・分析化学・生物化学・化学工学に関わる、幅広い自然科学に対応できる教育研究環境を提供し、独創性に加えて、知識を有機的に結び付けることで育まれる柔軟な思考力を備えた科学者・技術者の育成を目指します。

博士前期課程では、化学産業のニーズに応じた開発研究のみならず、基礎化学を土台とする研究分野で即戦力として活躍できる研究者または技術者を育成します。博士後期課程では、研究の立案・実行・考察から取りまとめまでを計画的に遂行でき、将来の化学技術の発展に貢献できる優れた研究者を育成します。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

応用化学専攻では、基礎から高度な応用まで幅広い視野と独創性を持った科学者・技術者の育成を目指します。そのために、化学の基礎から境界領域を含めた幅広い応用研究までを対象とし、理学・工学両面から思考するために必要な教育と研究を行います。

博士前期課程では、化学産業のニーズに即戦力として応えうる応用技術研究のみならず、基礎化学も含めた広範な分野にわたる知識を有する研究者又は技術者を育成します。博士後期課程では、博士前期課程で養った能力を生かし、新たな分野の発想力・発想を実現する計画の実行力を兼ね備えた将来の化学技術の発展を担う斬新で柔軟な発想を持つ研究者を育成します。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ コーヒー豆粉末揮発性成分における条件検討及び成分構成比の経時変化の追跡
- ▶ アセチルコリンエステラーゼ阻害活性とUDP-グルクロン酸転移酵素親和性を予測するモデルの開発および新規アセチルコリンエステラーゼ阻害薬の設計
- ▶ 高圧CO₂下での水熱法によるLiCoO₂からLiの選択的溶出
- ▶ Non-Seed CBD による低抵抗率ZnO膜の作製と電気特性評価
- ▶ Calpain-2欠損MDA-MB-231細胞の特性評価
- ▶ 生体内循環を指向した有機/無機ハイブリッド人工骨の創製とその機能評価
- ▶ 歯周組織再生を指向した線維芽細胞と内皮細胞と間葉系幹細胞の共培養
- ▶ クロロヘキシジン担持させたβ-リン酸三カルシウム粉体の調製とその生物学的評価
- ▶ Water Vapor Adsorption Properties of Amino Acids Constituting Proteins
- ▶ 高分子材料のモノマー構造および特性から材料物性を予測する機械学習モデルの開発

● 修了生からのメッセージ



佐藤 太一

SATO Taichi

応用化学専攻

博士前期課程

2025年3月修了予定

研究を形にする

私は時間をかけて研究に向き合いたいと思い、大学院進学を決めました。現在、可視光照射下で水を分解し、クリーンに水素を生成する光触媒の開発を行っています。研究生活では仮説を立て検証する計画力・実行力を養うことができました。さらに、自身の研究成果を世界へ広げるために国内外で学会発表を行い、発信力もこの大学院生活で身につけることができました。研究を突き詰めるという点で、大学院は自由度が高いです。なにかを形にしたいと思う熱情は大学院生活を充実させてくれると思います。

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
応用化学研究	無機化学特論1	渡邊 友亮
応用化学研究	無機化学特論2	長尾 憲治
応用化学研究	無機材料科学特論	石川 謙二
応用化学研究	高分子化学特論 高分子新素材特論	永井 一清
応用化学研究	反応有機化学特論	土本 晃久
応用化学研究	有機構造化学特論	本多 貴之
応用化学研究	物理有機化学特論	田原 一邦
応用化学研究	生物化学特論	本田 芳信
応用化学研究	物理化学特論	深澤 倫子
応用化学研究	触媒化学特論	岩瀬 顕秀
応用化学研究	機能性材料分析特論	相澤 守
応用化学研究	分離分析化学特論	小池 裕也
応用化学研究	生物化学特論	本田 みちよ
応用化学研究	無機結晶化学特論	我田 元
応用化学研究	有機合成化学特論	小川 熟人
応用化学研究	データ化学工学特論	金子 弘昌
応用化学研究	環境エネルギー化学工学特論	石飛 宏和

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(工学)	実用化可能な製造方法を用いた水分解光電極の作製およびその評価	2020年度
博士(工学)	Studies on Synthesis and Synthetic Application of New Organoboron/silicon Compounds Derived	2020年度
博士(工学)	アパタイトファイバースキャフォールドによる再生培養骨の構築およびその生体内反応	2022年度
博士(工学)	Studies on the Creation of Novel Carbon-Based Materials	2022年度
博士(工学)	水産物由来タンパク質を利用した抗菌性医療材料の創製と分析法の構築	2022年度
博士(工学)	医薬品原薬製造プロセス開発への機械学習の活用	2023年度
博士(工学)	固液界面における剛直なC ₃ h対称コアを持つ分子による階層的分子集合体構造の構築とそのキラリティー制御	2023年度
博士(工学)	Identification and structural analysis of proteins adsorbed on hydroxyapatite ceramics-Elucidation of the osteoconductivity from the biomaterial interface-	2023年度
博士(工学)	Development of new Z-schematic photocatalyst systems combining non-metal oxide materials and novel metal oxide photocatalysts with a C-site-filled tungsten bronze structure for water splitting and CO ₂ reduction	2024年度
博士(工学)	機能性高分子材料の分子設計と機能発現のメカニズム解明	2024年度

博士前期課程

Master's Program

Q 師事していた教員は？

A 岩瀬 顕秀 教授

エネルギー変換化学研究室では、光エネルギーを利用した水からの水素製造および二酸化炭素の資源化をテーマとした研究が行われています。研究テーマに沿って各自が材料合成、材料分析、性能評価までを責任をもって行っています。国内外含めて年に複数回、学会発表を行う機会があり、学外の研究者と切磋琢磨できるのも魅力です。

教員情報 P.140

情報科学専攻では、情報基礎・ソフトウェア・ハードウェア・広域情報などの各分野およびその関連分野が有機的に結び付いた学術的課題に取り組むことにより、発展著しい情報分野において次代を担える創造性・柔軟性に富んだ人材の育成を目指しています。

人材養成その他の教育研究上の目的

情報科学専攻では、時代を切り開く豊かな創造力と柔らかな思考力の育成を目指します。変化の激しい時代に対応できる問題発見能力と解決能力を身につけさせるため、基礎的な力を更に強化した上で、専門領域に関する実践的で高度な内容の教育を行います。また、国際性豊かな創造力と幅広い視野を持つ情報科学の専門家の育成を行います。研究を通し、その専門領域での研究開発能力を身につけ、有用で新規性のある研究成果や作品を国内外に発信します。博士前期課程では、情報科学の高度な理論を理解し、それを実際のシステムの開発や運用に活用できる人材を育成します。博士後期課程では、情報科学の高度な理論を新規に作り出し、それを応用したシステムを構築できる独立した研究者又は高度な専門性を有する開発者を育成します。

2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ 大規模言語モデルによる表データに関する質問応答の研究
- ▶ 粒子法ソフトウェア DualSPHysics における粒子相互作用計算のGPU向け最適化
- ▶ 粒子シミュレーションへのレイトレーシング法の応用
- ▶ 感情分析と機械学習を用いたX上の炎上予測手法の構築と評価
- ▶ 視覚的場所認識のためのグローバル特徴とローカル特徴を用いたスコア計算
- ▶ Optuna Re-RX with J48graftを用いた医療診断のホワイトボックス化に関する研究
- ▶ クエリベースのモデルによる物体及び影の検出
- ▶ ビジュアルナビゲーションを対象とした実環境における意味論的領域分割の精度向上
- ▶ フィンガープリントを用いたルールベース端末識別アルゴリズムの設計と実装
- ▶ 大規模マルチエージェントシミュレーションへの深層学習モデル適用におけるモデル軽量化手法の比較検討

修了生からのメッセージ



松本 怜也

MATSUMOTO Reiya

情報科学専攻

博士前期課程

2025年3月修了予定

大学院での研究の深化と自己成長

私は、学部時代に得た知識や経験をもとに、学びを深めるために大学院に進学しました。現在は、低速通信時のモバイル端末におけるWebページの読み込みの高速化を行う研究をしています。多くの人が身近に感じる課題なので、やりがいを感じながら試行錯誤する毎日です。大学院では、研究について指導教員と議論する時間や、学会で発表する機会が増え、特に論理的思考力や説明力が高まりました。大学院は、研究を深めたい人だけでなく、研究を通じた自己成長を求める人にもお勧めできます。

カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
情報基礎研究	連続最適化特論 非線形関数解析学特論	飯塚 秀明
情報基礎研究	画像処理特論 機械学習特論	宮本 龍介
情報基礎研究	アルゴリズム特論 計算の理論	小林 浩二
情報ハードウェア研究	コンピュータ設計特論 組込みシステム特論	井口 幸洋
情報ハードウェア研究	コンピュータアーキテクチャ特論 LSI設計特論	堤 利幸
情報ソフトウェア研究	システムプログラム特論 プログラム言語特論	岩崎 英哉
情報ソフトウェア研究	ソフトウェア基礎特論 ソフトウェア科学特論	横山 大作
情報ソフトウェア研究	システム設計特論 ソフトウェア工学特論	早川 智一
広域情報科学研究	計算知能特論 ビッグデータ工学特論	林 陽一
広域情報科学研究	情報セキュリティ特論 分散システム特論	齋藤 孝道
広域情報科学研究	脳型情報処理特論 生体情報処理特論	向井 秀夫
広域情報科学研究	知能ロボットシステム特論 先端ロボティクス特論	松田 匠未

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(理学)	組込みシステムを対象とした並列実装及びコードの生成と移植に関する研究	2022年度
博士(理学)	単眼カメラから推定される走行可能領域に基づく自律移動に関する研究	2023年度

Q 師事していた教員は？

A 早川 智一 講師

私の所属する研究室では、Webアプリケーションの設計・実装やプログラミング教育、ネットワーク・インフラに関する研究をしています。基本的には、各学生が興味のある分野を調査し、研究テーマ化して取り組むため、課題発見能力と問題解決能力が養われます。また、学生間の仲も良く、研究の議論の合間に技術的な雑談に興じることもあります。

教員情報 P.142

数学専攻

生田キャンパス

数学専攻では、数理科学研究者、中学校・高等学校の優れた教員、社会で幅広く活躍する専門職業人の育成を目的に、代数学・幾何学・解析学という伝統的な数学の教育研究を行い、社会との関わりの中で数理科学教育を展開します。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

数学専攻における人材養成の目的には、数学を「使う」「創る」及び「伝える」という3つの側面があります。特に大学院教育においては、上記のいずれか1つではなくすべてが、互いに無関係のものとしてではなく、密接に結びついた形で、人材養成の目的に寄与するよう学生の指導を行います。

博士前期課程では、学生が数学を含む科学技術全体を鳥瞰する独自の観点を構築し、それを修了後の社会的活動の礎とするべく、数学を使い、創り、伝える能力を養成します。また、博士後期課程では、数学を「創る」側面に重点を置き、その成果が社会に還元されるよう特段の努力を払うように学生を導きます。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ 半線形熱方程式の解の爆発と漸近挙動
- ▶ ドローンの姿勢推定アルゴリズムによる数理解析の諸結果
- ▶ Kolmogorov-Arnold Networksを用いた時系列データ予測性能の研究
- ▶ ある感染症流行モデル、および空間経済学におけるあるモデルの数理解析
- ▶ 「環境」を考慮した野球における打球軌道シミュレーション
- ▶ トレースイデアル、反射的加群、およびUlrich加群について

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
代数学研究	代数学特論D	藏野 和彦
代数学研究	代数学特論C	中村 幸男
代数学研究	代数学特論E	鴨井 祐二
代数学研究	代数学特論B	松岡 直之
代数学研究		小林 稔周
幾何学研究	幾何学特論B 幾何学特別講義B	長友 康行
幾何学研究	幾何学特論E 幾何学特別講義A	今野 宏
幾何学研究	幾何学特論A、D	吉田 尚彦
幾何学研究	幾何学特論C	野原 雄一
数理解析研究	数理解析特論C、D	廣瀬 宗光
数理解析研究	偏微分方程式特論A 数理解析特論A	名和 範人
数理解析研究	現象数理解論B	
数理解析研究	現象数理解論D	坂元 孝志
数理解析研究	偏微分方程式特論B	矢崎 成俊
数理解析研究		宮部 賢志

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(理学)	Mathematical analysis using the method of fundamental solutions for various Helmholtz problems	2022年度
博士(理学)	A qualitative study of solutions to partial differential equations based on dynamical systems theory and geometric approaches	2022年度

● 院生からのメッセージ



安宅 麻希

ATAKA Maki

数学専攻
博士前期課程 2年

代数学を探究する誇りと喜び

私は、代数学の長い歴史の中で積み重ねられた事実のもとで、新たな発見や理論を構築する面白さに惹かれ、「もっと知りたい、何かを見つけない!」という思いで大学院に進学しました。進学後、学部の授業以上に複雑で抽象的な内容に取り組む機会が増え、日々頭を悩ませることもありますが、これまで学んだ知識を駆使して理解できた時には大きな達成感を感じます。大学院での環境は、自分の興味にじっくりと向き合える貴重な場であり、充実した日々を過ごしています。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は?

A 松岡 直之 教授

私の所属する研究室では、主に可換環論を中心に研究が進められています。ゼミでは、先行研究や自身の発見について発表し、意見や疑問を共有し合い、同期と共に理解を深めています。また、SlackやNotionを使って研究室全体で予定や各自の進捗・活動が共有されており、自分の研究を進めるためのヒントも得られる環境です。

教員情報 P.143

自然法則の理解に裏打ちされた正しい自然観を備え、あらゆる場面でその根本原理にもとづいて現象を演繹的に理解しようとする物理学的思考ができる人材の育成を目指しています。

● 人材養成その他の教育研究上の目的

物理学専攻では、自然法則の理解に裏打ちされた正しい自然観を備え、あらゆる場面でその根本原理にもとづいて現象を演繹的に理解しようとする物理的思考ができる人材の育成を目指します。

博士前期課程では、物理学の知見や論理的な思考方法を生かして、社会に貢献できる研究者又は高度専門職業人を育成します。博士後期課程では、主体的に物理学の研究を推進し、その成果をもって自然科学の進展に貢献しうる研究者の育成を目指します。

● 2024年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ 分子シミュレーションを用いたナトリウムイオンの影響によるアデノシンA_{2A}受容体の構造変化の研究
- ▶ マイクロゲルビーズ分散液の粘性挙動測定と挙動解析手法の検討
- ▶ 惑星深部条件におけるH₂Oの融点決定に向けた高温高圧力発生装置の開発
- ▶ NMRシフトテンソルのニューラルネットワークによる解析とカイラリティの同定
- ▶ 夜光雲観測を想定した超小型係留気球システムの開発
- ▶ 汎関数くりこみ群によるNewton定数の量子補正
- ▶ 地球照観測による雲量推定法の高精度化
- ▶ 微粒子懸濁液の沈殿が粘度データに及ぼす影響の検討
- ▶ 空中生成アルギン酸ゲルのマイクロ粒子分散液の流動特性
- ▶ 動的粘弾性測定によるメチルセルロース水溶液のゲル化過程の観察とゲル化点の決定

● カリキュラム一覧

主要科目	特修科目	担当教員
理論物理学研究	量子物理学特論 統計物理学特論	金本 理奈
理論物理学研究	固体物理学特論A、B	楠瀬 博明
理論物理学研究	素粒子物理学特論A、B	横山 大輔
生物物理学研究	生物物理学特論C	平岡 和佳子
生物物理学研究	生物物理学特論B	光武 亜代理
実験量子物理学研究	量子光学特論	立川 真樹
実験量子物理学研究	原子分子物理学特論	小田島 仁司
実験量子物理学研究	固体物理学特論C	菊地 淳
実験量子物理学研究	固体物理学特論D	安井 幸夫
実験量子物理学研究	光物性特論	鈴木 隆行
応用物理学研究	結晶成長学特論	長島 和茂
応用物理学研究	地球惑星大気物理学特論	鈴木 秀彦
応用物理学研究	地球内部物理学特論	新名 良介
応用物理学研究	流体物性物理学特論	平野 太一
応用物理学研究	宇宙物理学特論	佐藤 寿紀

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(理学)	小スケール山岳地形による山岳部の励起と上部中間層への伝搬過程の研究	2022年度
博士(理学)	Generation Scheme of Effective Models Based on Symmetry-Adapted Multipole Basis and Clarification for Universal Properties of Chiral Materials	2022年度
博士(理学)	大規模分子シミュレーションと緩和モード解析によるオレキシン2受容体の活性化メカニズムの理論的研究	2024年度

● 修了生からのメッセージ



川口 桐矢

KAWAGUCHI Taya

物理学専攻
博士前期課程

2025年3月修了予定

知的好奇心の魅力

私は素粒子物理学における大きな問題の一つである重力の量子化に興味があり、今現在はその解決策の候補とされている漸近的安全性について勉強しています。大学院では研究の一環として研究会が行われ、他大学の先生や学生の方々から、最新の研究についての話を伺うことができます。特に自分が知らないテーマのときは、思いもよらない気づきを得ることも少なくありません。純粋な知的好奇心を満たす。そういった研究の醍醐味を味わいたい方は、是非とも大学院に進学することをお勧めいたします。

博士前期課程

Master's Program

Q 師事していた教員は？

A 横山 大輔 講師

私が所属する研究室では、主に素粒子物理学、宇宙論について研究しており、その過程でさまざまな物理学や数学の知識を得ることができます。基本的には、学生それぞれが興味を持ったテーマについて研究することが多く、比較的自由に研究できるため、とことん物理学を学びたい方にはピッタリの研究室だと思います。

教員情報 P.144

教員一覧

電気工学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 電気工学専攻 教員一覧 >>>



井家上 哲史

博士(工学)
教授

IKEGAMI Tetsushi

研究
分野

無線通信方式/ワイヤレスネットワーク

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】ディジタル無線通信における変復調・多元接続方式の研究、UWB



小椋 厚志

工学博士
教授

OGURA Atsushi

研究
分野

半導体ナノテクノロジー

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究/半導体ナノテクノロジー特論
【研究テーマ】太陽電池とLSIのためのナノテクノロジー(1.ナノ材料技術、2.ナノプロセス技術、3.ナノ評価技術)に関する研究



小野 弓絵

博士(工学)
教授

ONO Yumie

研究
分野

安心・安全・健康をつくる医工学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究/脳神経工学特論
【研究テーマ】非侵襲脳機能イメージング/生体機能計測による医用診断機器・リハビリテーション/情動・コミュニケーションの可視化



加藤 徳剛

博士(理学)
教授

KATO Noritaka

研究
分野

有機分子・バイオ機能材料

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究/分子物性特論
【研究テーマ】モデル細胞膜の構築、治療診断用の機能性ナノ粒子やナノカプセルの作製、細胞と微粒子の相互作用の解明、非線形光学を利用したバイオイメーjing法の開発



鎌田 弘之

工学博士
教授

KAMATA Hiroyuki

研究
分野

非線形ディジタル信号処理/複合情報処理

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】カオス解析と暗号、音声・画像のディジタル信号処理



川崎 章司

博士(工学)
教授

KAWASAKI Shoji

研究
分野

電気電子工学/電力工学/電力変換/電気機器

【最終学歴】福井大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】再生可能エネルギー大量導入に向けた次世代電力システムの高度化に関する研究



工藤 寛之

博士(工学)
教授

KUDO Hiroyuki

研究
分野

ナノ・マイクロ科学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】生体材料のマイクロファブリケーションとその応用デバイス



久保田 寿夫

工学博士
教授

KUBOTA Hisao

研究
分野

パワーエレクトロニクス/電気機器

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】エネルギー変換特論
【研究テーマ】交流電動機の変速制御方式に関する研究



熊野 照久

工学博士
教授

KUMANO Teruhisa

研究
分野

電力系統の運用・制御

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】システム工学特論
【研究テーマ】電力系統の制御方式開発/新型電源の系統導入研究



嶋田 総太郎

博士(工学)
教授

SHIMADA Solaro

研究
分野

認知脳科学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】システム工学特論/認知科学特論
【研究テーマ】社会性と身体性の脳内メカニズム



関根 かをり

博士(工学)
教授

SERINE Kazori

研究
分野

アナログ集積回路システム

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】集積電子回路特論/電気電子生命研究
【研究テーマ】情報通信システムのためのCMOSアナログ集積回路の研究



野口 裕

博士(工学)
教授

NOGUCHI Yutaka

研究
分野

有機分子エレクトロニクス

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】有機半導体物性・デバイス物理/分子エレクトロニクス



野村 新一

博士(工学)
教授

NOMURA Shinichi

研究
分野

超電導工学・電力工学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】高効率な電力貯蔵・送電システムの実現を目指した超電導応用電力機器開発



星野 聖

HOSHINO Kiyoshi

博士(医学)、博士(工学)
教授

研究分野 医用生体計測／ヒューマンインタフェース設計

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】医用生体計測、人工知能の武蔵・スポーツ研究および健康科学への応用



和田 和千

WADA Kazuyuki

博士(工学)
教授

研究分野 波動伝送回路／信号処理回路／電力信号処理

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】通信用信号変換回路／環境発電センサモジュール回路／電力変換／高周波フィルタ



網嶋 武

AMISHIMA Takeshi

Ph.D
准教授

研究分野 信号処理／制御工学

【最終学歴】ペンシルベニア州立大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究／空間情報処理特論
【研究テーマ】様々な移動体向け航法・センシング技術の信号処理に関する研究



池田 有理

MUKAI-IKEDA Yuri

博士(薬学)
准教授

研究分野 生命情報科学／分子生物学

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】生命情報科学特論／電気電子生命研究
【研究テーマ】膜タンパク質細胞内局在性機構の解明・高機能性タンパク質の同定



伊吹 竜也

IBUKI Takuya

博士(工学)
准教授

研究分野 制御工学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究／関数解析特論
【研究テーマ】ロボティクスネットワークの分散型協調制御／機械学習と制御理論の融合／視覚情報に基づく推定・制御



小原 学

OBARA Gaku

博士(工学)
准教授

研究分野 永久磁石材料／電気化学キャパシタ電極材料

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究／磁性体特論
【研究テーマ】永久磁石の高性能化及び保磁力機構に関する研究／レドックスキャパシタ用電極材料に関する研究



梶原 利一

KAJIWARA Riichi

博士(情報科学)
准教授

研究分野 神経科学／脳機能解析

【最終学歴】東北大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】脳回路動態の可視化による記憶・情動メカニズムの解明



勝俣 裕

KATSUMATA Hiroshi

博士(工学)
准教授

研究分野 半導体工学／光電子デバイス／プロセス技術

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究／光半導体工学特論
【研究テーマ】環境調和型グリーンデバイス(LED、太陽電池、熱電変換素子など) 材料の開発とそのデバイス応用に関する研究



中村 守里也

NAKAMURA Moriya

博士(工学)
准教授

研究分野 光通信工学／デジタル信号処理

【最終学歴】大阪大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究／光通信工学特論
【研究テーマ】光情報通信ネットワーク／デジタル信号処理／機械学習による信号処理



保坂 忠明

HOSAKA Tadaaki

博士(理学)
准教授

研究分野 知能情報科学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】意識の計算論的研究／深層学習による画像処理・自然言語処理



前川 佐理

MAEKAWA Sari

博士(工学)
准教授

研究分野 電気工学専攻／パワーエレクトロニクス／モータドライブ

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気機器学特論
【研究テーマ】高効率な電力変換器とモータドライブ技術の研究



三浦 登

MIHURA Noboru

博士(工学)
准教授

研究分野 機能性電子デバイス／フォトニクス

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】光・電気・磁気の機能を組み合わせたデバイスの研究／ディスプレイデバイスの研究



村上 隆啓

MURAKAMI Takahiro

博士(工学)
准教授

研究分野 音響信号処理／デジタル信号処理

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】デジタル信号処理特論
【研究テーマ】老人性難聴用補聴器／話速・音高変換(再生速度変換)／音響信号のパラメータ推定／信号分離



伊丹 琢

ITAMI Taku

博士(工学)
講師

研究分野 メカトロニクス／ロボティクス

【最終学歴】三重大学大学院
【担当授業科目】電気電子生命研究
【研究テーマ】歩行支援デバイス／看護支援デバイス／モビリティ／スマートデバイス／運動解析／画像処理

機械工学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 機械工学専攻 教員一覧 >>>



相澤 哲哉

AIZAWA Tetsuya

工学博士
教授

研究分野 エンジン内部の燃焼過程等の最先端光計測

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】熱流体工学特論
【研究テーマ】レーザー分光・画像計測を用いたディーゼル火炎内すす生成・酸化過程の現象解明



阿部 直人

ABE Naoto

工学博士
教授

研究分野 制御工学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】制御工学特論2、システム制御工学特論
【研究テーマ】むだ時間を含む制御系の理論と応用／付加質量を用いた構造物の制振制御



石原 康利

ISHIHARA Yasuaki

博士(工学)
教授

研究分野 計測工学／医用システム／医用生体工学

【最終学歴】長岡技術科学大学大学院
【担当授業科目】熱流体計測特論
【研究テーマ】非侵襲・非破壊計測技術／医用画像システム／低侵襲治療システム



市原 裕之

ICHIHARA Hironori

博士(工学)
教授

研究分野 制御工学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】制御工学特論1
【研究テーマ】数値および数式による制御系設計に関する研究



井上 全人

INOUE Masato

博士(工学)
教授

研究分野 設計工学／コンカレントエンジニアリング

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】製品開発・設計特論
【研究テーマ】初期設計のための設計方法論研究、設計者の意思決定支援システムの開発、環境配慮設計



岩堀 豊

IWAHORI Yutaka

博士(工学)
教授

研究分野 航空宇宙構造材料設計／複合材料工学／複合材料製造

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】機械材料・設計特論
【研究テーマ】複合材料破壊メカニズム解明／複合材高効率製造技術研究／航空宇宙構造設計研究



小澤 隆太

OZAWA Ryuta

博士(工学)
教授

研究分野 知能機械学・機械システム
知能ロボティクス

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】ロボット制御特論
【研究テーマ】ロボットの運動制御・ロボットハンドの開発・ロボットの伝達系の設計など



川南 剛

KAWANAMI Tsuyoshi

博士(工学)
教授

研究分野 熱工学／エネルギーシステム工学／冷凍・空調工学

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】熱工学特論
【研究テーマ】固体冷媒ヒートポンプの研究開発／機能性流体による高度熱輸送デバイスに関する研究



黒田 洋司

KURODA Taji

博士(工学)
教授

研究分野 ロボット工学／人工知能

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】ロボット工学特論1、2
【研究テーマ】自律移動ロボット／人工知能／宇宙ロボット



榊原 潤

SAKAKIBARA Jun

博士(工学)
教授

研究分野 流体工学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】乱流特論
【研究テーマ】流体力学に関連した現象解明、機器開発、計測技術開発および医療分野への応用



澤野 宏

SAWANO Hiroshi

博士(工学)
教授

研究分野 精密機械加工／加工計測／精密位置決め

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】加工工学特論
【研究テーマ】CFRPの放電加工特性向上／シェル形成によるAM部品の追加加工特性向上



椎葉 太一

SHIIBA Taichi

博士(工学)
教授

研究分野 機械力学・制御

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】ビークルダイナミクス特論、機械力学特論2
【研究テーマ】車両の運動解析とヒューマンファクタ／マルチボディダイナミクス



館野 寿丈

TATENO Toshiyuki

博士(工学)
教授

研究分野 設計工学／生産システム工学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】設計工学特論
【研究テーマ】アディティブマニュファクチャリングの応用研究／製品開発プロセス手法の研究



中別府 修 博士(工学) 教授
NAKABEPPU Osamu

研究分野 ミクロ熱工学/MEMS/熱流体工学/
ナノ熱分析

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】ミクロ熱工学特論
【研究テーマ】MEMS伝熱研究/エンジン用熱流束センサ/相変化・燃焼伝熱



納富 充雄 博士(工学) 教授
NOTOMI Mitsuo

研究分野 材料力学/材料強度学/破壊力学/
有限要素解析

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】破壊力学特論
【研究テーマ】材料強度/形状記憶合金/水素吸蔵合金/
有限要素解析



松尾 卓摩 博士(工学) 教授
MATSUO Takuma

研究分野 材料力学/材料強度学
非破壊検査工学

【最終学歴】青山学院大学大学院
【担当授業科目】破壊力学特論、材料強度学特論
【研究テーマ】機械・構造物の健全性診断に関する研究



松岡 太一 博士(工学) 教授
MATSUOKA Taichi

研究分野 機械力学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】機械力学特論1、振動工学特論
【研究テーマ】耐震・免震・制振装置の開発



宮城 善一 工学博士 教授
MIYAGI Shinya

研究分野 計測工学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】生産システム工学特論
【研究テーマ】材料、製品設計に関わる計測・評価法の高度化



有川 秀一 博士(工学) 准教授
ARIKAWA Shuichi

研究分野 材料科学/材料力学/光計測

【最終学歴】横浜国立大学大学院
【担当授業科目】機械材料科学特論1、2
【研究テーマ】材料のミクロ構造と力学挙動に関する研究、新材料開発、レーザ等を利用した非接触変形測定技術に関する研究、非破壊検査技術の開発



石田 祥子 博士(工学) 准教授
ISHIDA Sachiko

研究分野 設計工学/折紙工学

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】機械構造設計特論
【研究テーマ】折紙の数理に基づいた展開構造の設計/
構造の新機能の創成、特性の解明



加藤 恵輔 博士(工学) 准教授
KATO Keisuke

研究分野 ロボット工学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】メカトロニクス特論、制御理論特論
【研究テーマ】作業・移動機能を組み合わせたロボットシステム、人間を支援するロボット・操作系の開発・研究



小林 健一 博士(工学) 准教授
KOBAYASHI Kenichi

研究分野 エネルギー学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】熱流体特論
【研究テーマ】温度差に起因するエネルギー輸送現象の計測・実験・シミュレーション



齋藤 彰 Ph.D. 准教授
SAITO Akira

研究分野 機械力学

【最終学歴】ミシガン大学アナーバー校大学院
【担当授業科目】構造力学特論、モード解析特論
【研究テーマ】機械構造物の振動解析手法開発、振動活用法



中 吉嗣 博士(工学) 准教授
NAKA Yoshitsugu

研究分野 流体力学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】流体力学特論
【研究テーマ】計測と数値シミュレーションによる流動現象の解明と制御



新山 龍馬 博士(学際情報学) 准教授
NIITAMA Ryuma

研究分野 ロボティクス/知能機械システム/
ヒューマンインタフェース

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】ソフトロボティクス特論
【研究テーマ】ソフトロボティクス関連研究/生物規範ロボットの開発/ロボットの運動学習など



亀谷 幸憲 博士(工学) 講師
KAMETANI Yukinori

研究分野 流体制御/物質輸送設計

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】流体数値特論
【研究テーマ】流体による熱・物質輸送現象の解明と予測、最適設計及び制御



木本 充彦 博士(工学) 講師
KIMOTO Mitsuhiro

研究分野 知能ロボティクス/知能情報学

【最終学歴】同志社大学大学院
【担当授業科目】機械工学研究、ソーシャルロボティクス特論
【研究テーマ】人とインタラクションできる知能システムの研究



田島 真吾

TAJIMA Shingo

Ph.D.
講師

研究分野 加工学／ロボット工学

【最終学歴】オレゴン州立大学
 【担当授業科目】先端加工学特論
 【研究テーマ】産業用ロボットや工作機械の高速高精度化



田中 純夫

TANAKA Sumio

博士(工学)
講師

研究分野 材料力学／計算力学

【最終学歴】金沢大学大学院
 【担当授業科目】弾性力学特論、固体力学特論
 【研究テーマ】円孔のある線形弾性板の振動的応力／トリリニア形弾性棒の静的変形／オーバロイド孔のある線形弾性板の静的応力



永井 義満

NAGAI Yoshimichi

博士(工学)
講師

研究分野 信頼性理論／応用統計学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
 【担当授業科目】工業統計学特論・信頼性工学特論
 【研究テーマ】故障原因不明を含むデータによる競合リスクモデルに関する研究



梶川 久光

KAJIKAWA Hisamitsu

博士(工学)
教授

研究分野 建築構造分野における木質構造建築物に関する研究、及び建築防災技術に関する研究

【最終学歴】明治大学大学院
 【担当授業科目】木質構造特論
 【研究テーマ】木質建物における水平抵抗機構に関する研究／被災度判定計を用いた建築防災技術の研究 等



門脇 耕三

KADOWAKI Kōzō

博士(工学)
教授

研究分野 建築構法／構法計画／建築設計／設計方法論

【最終学歴】東京都立大学大学院
 【担当授業科目】建築・都市計画設計研究／建築構法計画特論
 【研究テーマ】現代建築の構法と生産システム／近現代建築の構法史／建築設計の理論・方法論



熊谷 知彦

KUMAGAI Tomohiko

博士(工学)
教授

研究分野 建築構造／シェル・空間構造／鋼構造

【最終学歴】東京工業大学大学院
 【担当授業科目】建築構造・建築材料研究
 【研究テーマ】シェル・空間構造物の自重・雪荷重・地震等に対する構造安全性に関する研究

建築・都市学専攻(建築学系)

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 建築・都市学専攻(建築学系) 教員一覧 >>>



青井 哲人

AOI Akihito

博士(工学)
教授

研究分野 都市史・建築史

【最終学歴】京都大学大学院
 【担当授業科目】都市史特論、建築・都市計画設計研究
 【研究テーマ】東アジア・日本の都市史・建築史研究／災害史研究／生環境構築史研究／都市建築の動態の研究／建築論の研究



上野 佳奈子

UENO Kanako

博士(工学)
教授

研究分野 建築音響／環境心理

【最終学歴】東京大学大学院
 【担当授業科目】建築環境・建築設備研究／建築音響特論
 【研究テーマ】室内音環境の評価・設計法に関する研究



大河内 学

OKOCHI Manabu

博士(工学)
教授

研究分野 建築空間論／建築デザイン論

【最終学歴】東京大学大学院
 【担当授業科目】建築・都市計画設計研究
 【研究テーマ】建築の設計手法に関する研究／空間計画の手法・概念に関する研究／都市空間の解析・評価手法に関する研究／都市の空間構成に関する形態学的研究



小林 正人

KOBAYASHI Masahito

博士(工学)
教授

研究分野 建築構造／耐震工学／免震構造

【最終学歴】明治大学大学院
 【担当授業科目】建築構造・建築材料研究／建築振動特論
 【研究テーマ】建築物の構造解析・構造設計および応答制御構造(耐震、免震、制振)に関する研究



小山 明男

KOTAMA Akiyo

博士(工学)
教授

研究分野 建築材料学／資源循環学

【最終学歴】明治大学大学院
 【担当授業科目】建築構造・建築材料研究／建築材料特論
 【研究テーマ】建築材料の品質と環境影響に関する研究



酒井 孝司

SAKAI Kōji

博士(工学)
教授

研究分野 熱・空気環境／空調設備

【最終学歴】明治大学大学院
 【担当授業科目】建築環境・建築設備研究／環境工学特論
 【研究テーマ】温熱・空気環境解析／自然エネルギー利用／蓄熱利用空調



樋山 恭助

HIYAMA Kyosuke

博士(工学)
教授

研究分野 建築環境デザイン

【最終学歴】東京大学大学院
 【担当授業科目】建築環境・建築設備研究／空調設備特論
 【研究テーマ】シミュレーション技術を用いた環境建築設計プロセスの最適化



山本 俊哉 博士(学術) 教授
YAMAMOTO Tashiya

研究分野 都市計画／まちづくり／都市・建築安全／都市防災

【最終学歴】千葉大学大学院
【担当授業科目】建築・都市計画設計研究／都市計画特論
【研究テーマ】防災まちづくり／空き家再生／市街地変容／震災復興／アートまちづくり／まちづくりゲーム



川島 範久 博士(工学) 准教授
KAWASHIMA Norihisa

研究分野 地域デザイン

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】地域デザイン特論、建築・都市計画設計研究
【研究テーマ】エコロジカルな地域・建築デザイン／環境シミュレーションを用いた設計プロセス／伝統知リサーチ



富澤 徹弥 博士(工学) 准教授
TOMIZAWA Tetsuya

研究分野 建築構造／構造設計／振動制御

【最終学歴】神戸大学大学院
【担当授業科目】建築構造・建築材料研究、鋼構造特論
【研究テーマ】構造物の振動制御に関する研究・開発
特殊材料・構法を用いた建築物の研究・構造設計



松沢 晃一 博士(工学) 准教授
MATSUURA Koichi

研究分野 建築生産／建築施工／建築材料

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】建築施工特論
【研究テーマ】鉄筋コンクリート造建築物の施工、維持管理、耐久性評価に関する研究



光永 威彦 博士(工学) 准教授
MITSunAGA Takehiko

研究分野 給排水衛生設備／建築水環境

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】給排水設備特論、建築水環境特論
【研究テーマ】拡張排水システムに関する研究／建物内の水の見える化に関する研究



連 勇太郎 博士(学術) 講師
MURAJI Yutaro

研究分野 建築設計／建築計画／デザイン学

【最終学歴】慶應義塾大学大学院
【担当授業科目】建築計画特論、建築・都市計画設計研究
【研究テーマ】建築デザインの共有資源化、社会変革としての建築、見えないスラム

建築・都市学専攻(国際建築都市デザイン系)

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 建築・都市学専攻(国際建築都市デザイン系) 教員一覧 >>>



佐々木 宏幸 博士(芸術工学) 教授
SASAKI Hiroyuki

研究分野 アーバンデザイン／都市・地域計画

【最終学歴】カリフォルニア大学バークレー校大学院
【担当授業科目】Architecture and Urban Design Studies
【研究テーマ】戦略的アーバンデザインの実践手法／フォーム・ベースド・コード／ニューアーバンイズム／公共空間のデザインと活用



庄 ゆた夏 博士(環境学) 教授
SHO Yutaka

研究分野 建築計画／意匠／デザイン・ジャスティス

【最終学歴】ハーバード大学デザイン大学院
【担当授業科目】Architecture and Urban Design Studies
【研究テーマ】グローバル開発業界における建築の役割



田中 友章 博士(建築学) 教授
TANAKA Tomoaki

研究分野 建築設計／建築計画／敷地計画

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】Architecture and Urban Design Studies
【研究テーマ】場所に応答する敷地計画に関する研究／複数敷地区画の包括的・協調的計画に関する研究／大学における新たな学びの場に関する研究



ヴァンアカー, ミッシェルA. 修士(建築) 特任教授
VAN ACKERE Michel A.

研究分野 Contemporary Architecture and Urban Design Practice/Japanese Architecture and Urbanism

【最終学歴】ハーバード大学院
【担当授業科目】Architecture and Urban Design Studies
【研究テーマ】Contemporary Architecture and Urban Design Practice/Japanese Architecture and Urbanism



田村 順子 博士(工学) 特任准教授
TAMURA Junko

研究分野 建築・都市デザイン論／コミュニティ開発

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】Architecture and Urban Design Studies
【研究テーマ】低所得者居住地域における住環境改善の実践的アプローチ／持続的地域開発のコミュニティ支援

建築・都市学専攻（総合芸術系）

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 建築・都市学専攻（総合芸術系）教員一覧 >>>



清岡 智比古

KITOOKA Tomohiko

教授

研究分野 映画論／詩論／都市論

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】映画と都市／文学と都市
【研究テーマ】都市論と映画論を組み合わせ、現代のディアスポラの様相を探る／日本近現代詩論



倉石 信乃

KURAIISHI Shino

教授

研究分野 近現代美術史／写真史／美術館学

【最終学歴】多摩美術大学
【担当授業科目】総合芸術研究／現代美術特論／写真史特論
【研究テーマ】複製技術時代以降の視覚芸術の可能性を、具体的な作品・資料に拠って考察する



菅 啓次郎

SUGA Keijiro

教授

研究分野 比較詩学／批評理論

【最終学歴】ワシントン大学（シアトル） 博士論文提出資格取得
【担当授業科目】総合芸術研究／映像文化特論
【研究テーマ】現代地球社会における文化創造の分析



山本 洋平

YAMAMOTO Yohei

博士（文学）
教授

研究分野 アメリカ文化・文学研究／環境文学研究

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】空間表象特論、ワークショップ・デザイン特論
【研究テーマ】環境文学論（場所／空間／風景／都市）、学術ワークショップの実践



鞍田 崇

KURATA Takashi

博士（人間・環境学）
准教授

研究分野 哲学／デザイン／環境人文学

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】環境と人文／環境とデザイン
【研究テーマ】地球規模の環境・社会変化を克服する人文的アプローチの確立



原 瑠美

HARA Rumi

MFA
准教授

研究分野 コミック制作

【最終学歴】Savannah College of Art and Design
【担当授業科目】コミック特論／アーティストブックとジン
【研究テーマ】コミック制作を通じた「場所」の考察／コミック制作による多分野交流の可能性を探る

応用化学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 応用化学専攻 教員一覧 >>>



相澤 守

AIZAWA Mamoru

博士（工学）
教授

研究分野 無機材料／生体材料／組織工学（再生医学）

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、機能性材料分析特論
【研究テーマ】次世代型バイオマテリアルの創製とその生命機能



石川 謙二

ISHIKAWA Kenji

工学博士
教授

研究分野 無機化学／固体化学／固体イオニクス

【最終学歴】大阪大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、触媒化学特論
【研究テーマ】イオン伝導性化合物の合成と性質



岩瀬 顕秀

IWASE Akihide

博士（理学）
教授

研究分野 光触媒／光電気化学

【最終学歴】東京理科大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、触媒化学特論
【研究テーマ】光エネルギーを利用した水からの水素製造および二酸化炭素の資源化



金子 弘昌

KANEKO Hiromasa

博士（工学）
教授

研究分野 材料設計／化学構造設計／プロセス設計／プロセス管理／化学工学／データサイエンス

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、データ化学工学特論
【研究テーマ】データ駆動型の化学・化学工学に関する研究



田原 一邦

TAHARA Kazukuni

博士（理学）
教授

研究分野 物理有機化学／超分子化学／表面化学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究／物理有機化学特論
【研究テーマ】新奇π共役化合物の創成、有機分子の自己集合による固体表面におけるナノ構造の構築



土本 晃久

TSUCHIMOTO Teruhisa

博士（工学）
教授

研究分野 有機合成化学／有機金属化学／材料化学／生物活性化化合物合成

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究／反応有機化学特論
【研究テーマ】新しい有機触媒反応の開発と機能性有機分子（生物活性化化合物・光電子材料）合成への応用



永井 一清

NAGAI Kazukiyo

博士(工学)
教授

研究分野 高分子化学／膜科学／地球温暖化対策／海洋プラごみ／国際標準化

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究／高分子化学特論
【研究テーマ】ユニークな機能を持つ高分子材料の提案とその創製



長尾 憲治

NAGAO Noriharu

博士(理学)
教授

研究分野 無機化学／錯体化学

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究
【研究テーマ】白金族金属や希土類金属のポリピリジン錯体に関する研究



深澤 倫子

FUKAZAWA Tomoko

博士(工学)
教授

研究分野 物理化学／物性化学

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究／物理化学特論
【研究テーマ】水素結合性物質の構造と物性



本田 みちよ

HONDA Michiyo

博士(理学)
教授

研究分野 生物化学／分子細胞生物学

【最終学歴】上智大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、生物化学特論
【研究テーマ】細胞やタンパク質、遺伝子を利用した生体内環境の再構成と組織再生技術の構築



渡邊 友亮

WATANABE Tomoaki

博士(工学)
教授

研究分野 環境関連材料開発／無機材料合成

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究
【研究テーマ】人工光合成、光触媒合成、ナノ材料、窒化物合成



石飛 宏和

ISHITOBI Hirokazu

博士(工学)
准教授

研究分野 化学工学／電気化学デバイス

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究
【研究テーマ】電気化学デバイスの速度論的解析および設計理論の体系化



大竹 芳信

OTAKE Yoshinobu

Ph.D.
准教授

研究分野 多孔質材料

【最終学歴】ベンシルバニア州立大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究
【研究テーマ】炭素表面のアクティブサイト



小川 熟人

OGAWA Naruhito

博士(工学)
准教授

研究分野 有機合成化学／天然物化学／医薬化学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究・有機合成化学特論
【研究テーマ】生物活性化合物の全合成と医薬・農業研究への応用、新規不斉反応の開発



小池 裕也

KOIKE Tetsuya

博士(工学)
准教授

研究分野 放射化学／分析化学／放射線安全

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究、分離分析化学特論
【研究テーマ】地球環境試料の放射化学分析研究



本多 貴之

HONDA Takayuki

博士(工学)
准教授

研究分野 天然物有機化学／微量化学分析

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】応用化学研究
【研究テーマ】熱分解を用いた高分子分析法の開発／天然油脂由来の新規有機材料の開発／天然物を利用した種々材料の分析



我田 元

WAGATA Hajime

博士(工学)
准教授

研究分野 無機化学／結晶化学／無機材料工学

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】無機結晶化学特論、応用化学研究
【研究テーマ】新奇無機単結晶・結晶薄膜の作製とその基礎物性の調査、結晶成長メカニズムの解明

情報科学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 情報科学専攻 教員一覧 >>>



飯塚 秀明

HIDUKA Hideaki

博士(理学)
教授

研究分野 最適化理論／情報学基礎

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】連続最適化特論
【研究テーマ】最適化理論とその数理情報工学への応用



井口 幸洋

IGUCHI Yukihiko

工学博士
教授

研究分野 コンピュータアーキテクチャ／VLS設計／組込みシステム

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】情報ハードウェア研究
【研究テーマ】リコンフィギャブル・アーキテクチャに関する研究



岩崎 英哉 工学博士 教授
IWASAKI Hideya

研究分野 プログラミング言語

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】システムプログラム特論
【研究テーマ】プログラミング言語とその処理系、領域特化言語、並列プログラミングシステムに関する研究



齋藤 孝道 博士(工学) 教授
SAITO Takamichi

研究分野 情報セキュリティ

【最終学歴】東京理科大学大学院
【担当授業科目】情報セキュリティ特論／分散システム特論
【研究テーマ】サイバーセキュリティ、AI技術の社会実装



堤 利幸 博士(工学) 教授
TSUTSUMI Toshiyuki

研究分野 コンピュータアーキテクチャ／電子デバイス工学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】情報ハードウェア研究
【研究テーマ】情報エレクトロニクス(デバイス、プロセッサのアーキテクチャ及び設計技術)の研究



林 陽一 工学博士 教授
HAYASHI Yoichi

研究分野 人工知能／ディープラーニング／AIファイナンス／メディカルAI

【最終学歴】東京理科大学大学院
【担当授業科目】人工知能と知識処理1・2、ビッグデータ工学特論
【研究テーマ】ディープラーニングを用いた説明できる高性能分類器とAIファイナンス



小林 浩二 博士(情報学) 准教授
KOBAYASHI Koji

研究分野 離散アルゴリズム

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】計算の理論／アルゴリズム特論
【研究テーマ】アルゴリズムとその応用



松田 匠未 博士(環境学) 准教授
MATSUMURA Takumi

研究分野 知能ロボットシステム

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】知能ロボットシステム特論
【研究テーマ】フィールドロボティクス、自律型海中ロボット、群ロボット



宮本 龍介 博士(情報学) 准教授
MIYAMOTO Ryusuke

研究分野 画像処理／物体検出・認識／組み込みシステム

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】情報基礎研究
【研究テーマ】画像処理に基づく物体検出・認識の精度向上および高速化に関する研究



横山 大作 博士(科学) 准教授
YOKOYAMA Daisaku

研究分野 大規模計算基盤システム／ゲーム情報学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】情報ソフトウェア研究、ソフトウェア基礎特論
【研究テーマ】知的情報処理を実現するためのアルゴリズム及びシステムソフトウェア



早川 智一 博士(工学) 講師
HAYAKAWA Tomokazu

研究分野 ソフトウェア工学

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】情報ソフトウェア研究、ソフトウェア工学特論
【研究テーマ】ソフトウェアの設計・開発・保守技法、アプリケーション用フレームワークの設計と実装



向井 秀夫 博士(学術) 講師
MUKAI Hideo

研究分野 知覚情報処理・知能ロボティクス／神経科学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】広域情報科学研究
【研究テーマ】情報科学による情動・記憶・知性のネットワークの解明、脳とロボティクス研究の展開

数学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 数学専攻 教員一覧 >>>




藏野 和彦 理学博士 教授
KURANO Kazuhiko

研究分野 可換環論および代数幾何学

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】代数学研究／代数学特論D
【研究テーマ】代数幾何学や高次K-理論などを用いて、可換環の性質を研究する



今野 宏 博士(理学) 教授
KONO Hiroshi

研究分野 微分幾何学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】幾何学研究／幾何学特別講義A
【研究テーマ】微分幾何学とシンプレクティック幾何学の研究



長友 康行 博士(理学) 教授
NAGATOMO Yasuyuki

研究分野 微分幾何学・大域解析学

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】幾何学研究／幾何学特論B／幾何学特別講義B
【研究テーマ】ゲージ理論・調和写像に代表される幾何学的変分問題と特殊ホロノミー群に関する研究



中村 幸男 博士(理学) 教授
NAKAMURA Yukio

研究分野 代数学・可換環論

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】代数学研究／代数学特論C
【研究テーマ】Rees代数／随伴次数環に関する研究



名和 範人 博士(理学) 教授
NAWA Hayato

研究分野 非線形偏微分方程式および数理物理学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】数理解析研究／偏微分方程式特論A
【研究テーマ】非線形(分散型)波動方程式の爆発問題、散乱理論、および確率的な構造の研究



松岡 直之 博士(理学) 教授
MATSUOKA Naoyuki

研究分野 可換環論

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】代数学研究／MTS数理科学課題研究
【研究テーマ】ホモロジー代数を用いた局所環の構造論



矢崎 成俊 博士(数理科学) 教授
YAJI Shigetoshi

研究分野 応用数学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】数理解析研究／現象数理特論C
【研究テーマ】移動境界問題の数理解析



鴨井 祐二 博士(理学) 准教授
KAMOI Yoji

研究分野 可換環論

【最終学歴】東京都立大学大学院
【担当授業科目】代数学研究／代数学特論E
【研究テーマ】可換環論へのホモトピー代数の応用



坂元 孝志 博士(理学) 准教授
SAKAMOTO Takashi

研究分野 力学系理論

【最終学歴】大阪大学大学院
【担当授業科目】数理解析研究・MTS数理科学課題研究
【研究テーマ】力学系理論／非線形偏微分方程式／応用数学



野原 雄一 博士(数理学) 准教授
NOHARA Yuichi

研究分野 シンプレクティック幾何学

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】幾何学研究／幾何学特論C
【研究テーマ】完全可積分系、ミラー対称性



廣瀬 宗光 博士(理学) 准教授
HIROSE Munemitsu

研究分野 非線形偏微分方程式

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】数理解析研究
【研究テーマ】反応拡散方程式における大域解の振る舞いおよび自己相似解の解集合構造について



宮部 賢志 博士(理学) 准教授
MITABE Kenshi

研究分野 計算論／ランダムネスの理論／計算可能解析

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】数理解析研究、MTS数理科学課題研究
【研究テーマ】計算論によるランダム性と確率概念およびその学習理論への応用



吉田 尚彦 博士(数理科学) 准教授
YOSHIDA Takahiko

研究分野 幾何学・シンプレクティック幾何学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】幾何学研究／幾何学特論A・D
【研究テーマ】幾何学的量子化に現れるDirac型作用素の指数の局所化現象の研究



小林 稔周 博士(数理学) 講師
KOBAYASHI Toshinori

研究分野 可換環論・多元環の表現論

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】代数学研究
【研究テーマ】加群環の構造研究とその可換環論への応用

物理学専攻

※ 2025年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 物理学専攻 教員一覧 >>>




小田島 仁司 理学博士 教授
ODASHIMA Hitoshi

研究分野 レーザー分光学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】実験量子物理学研究
【研究テーマ】テラヘルツ(THz)光源の開発とそれを用いた分子分光



金本 理奈 博士(理学) 教授
KANAMOTO Rina

研究分野 原子・分子・光科学理論

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】量子物理学特論・統計物理学特論
【研究テーマ】共振器量子オプトメカニクス；共振器量子電気力学；冷却原子気体



菊地 淳

KIKUCHI Jun

博士(理学)
教授研究
分野 固体物理学実験

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】実験量子物理学研究
【研究テーマ】核磁気共鳴(NMR)による固体電子物性研究(磁性・電子相関)



楠瀬 博明

KUSUNOSE Hiroaki

博士(理学)
教授研究
分野 物性理論/磁性・超伝導理論

【最終学歴】大阪大学大学院
【担当授業科目】理論物理学研究
【研究テーマ】電子相関/磁性/超伝導



立川 真樹

TACHIKAWA Maki

理学博士
教授研究
分野 量子エレクトロニクス

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】実験量子物理学研究
【研究テーマ】レーザーによる原子の運動制御/光カオスの研究



長島 和茂

NAGASHIMA Kazushige

博士(地球環境科学)
教授研究
分野 結晶成長/雪氷物理

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】応用物理学研究
【研究テーマ】雪や氷、ガスハイドレート等の結晶成長



平岡 和佳子

HIRAOAKA Wakako

獣医学博士
教授研究
分野 生物物理学

【最終学歴】北海道大学大学院
【担当授業科目】生物物理学研究
【研究テーマ】活性酸素と生体/放射線生物学/シグナル伝達



安井 幸夫

YASUI Yukio

博士(理学)
教授研究
分野 磁性体の異常物性研究及び中性子線やX線を用いた結晶構造・磁気構造の研究

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】実験量子物理学研究/固体物理学特論D
【研究テーマ】量子スピンが生み出す新奇量子磁性相の探索/特異な磁性により誘起される異常物性の探索



新名 良介

SINMYO Ryosuke

博士(理学)
准教授研究
分野 地球内部物理・高温高压実験・鉱物物理

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】地球内部物理学特論
【研究テーマ】高温高压実験による地球内部物質の物理・化学的性質の解明



鈴木 隆行

SUZUKI Takayuki

博士(理学)
准教授研究
分野 光物性物理学・コヒーレント光科学

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】光物性特論
【研究テーマ】光のコヒーレンスを利用した新たな原子分子の状態制御手法の確立、およびそのための光源技術の開拓



鈴木 秀彦

SUZUKI Hidehiko

博士(理学)
准教授研究
分野 大気物理学

【最終学歴】総合研究大学院大学
【担当授業科目】地球惑星大気物理学特論
【研究テーマ】光リモートセンシングによる大気物理学研究



平野 太一

HIRANO Taichi

博士(工学)
准教授研究
分野 流体物性計測
流動特性(レオロジー)評価

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】流体物性物理学特論
【研究テーマ】粘性の精密測定およびスベクトロスコピーによる流体挙動の解明



光武 亜代理

MITSUTAKE Ayori

博士(理学)
准教授研究
分野 理論生物物理学/分子シミュレーション

【最終学歴】総合研究大学院大学
【担当授業科目】生物物理学特論B
【研究テーマ】分子シミュレーションを駆使した蛋白質の構造安定性と機能機構の解明



佐藤 寿紀

SATO Toshiki

博士(理学)
講師研究
分野 宇宙物理学

【最終学歴】首都大学東京大学院
【担当授業科目】宇宙物理学特論
【研究テーマ】宇宙の観測研究と観測装置開発



横山 大輔

YOKOYAMA Daisuke

博士(理学)
講師研究
分野 場の量子論/超弦理論/素粒子理論/宇宙論

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】素粒子物理学特論A・B、理論物理学研究
【研究テーマ】超弦理論を用いた場の理論の量子効果の研究

